本稿の著者木下嚴君は、曩に東京外
（己）国語学校の英文科に卒つて、直ちに實業界に
入り、目下は北米シヤトル市の三井物産會社

東京市小石川區
高田老松町十七
本間久雄様

十二日午后

伊豆國
熱海町
坪内雄藏

お約束の稿は十四日の晩までには[illegible]に
着手する積りには大分も[illegible]遅れて[illegible]
ずつと一緒に勤め[illegible]校正は再校を
一寸見せて[illegible]初校と[illegible]一校再校分が
それでは[illegible]拝見[illegible]するやう
まい。やつと一部は[illegible]
急ぐのは午前の二回分でありますが、それでよろしければ[illegible]
要あの[illegible]あしからず[illegible]
三月十二日朝　せうえう

Gedes といふ人名の[illegible]を捜し出し[illegible]
[illegible]

三月十五

伊豆國
熱海町
坪内雄藏